

黒人侍

# 弥助

Y A S U K E

【主催】  
島原市教育委員会  
島原文化連盟

【問い合わせ】  
社会教育課



戦国時代に宣教師の奴隷として日本にやってきた「弥助」は、織田信長の家臣として活躍します。初代松平島原藩主・松平忠房公の祖父が記した『家忠日記』（国重要文化財）、肥前島原松平文庫所蔵の『信長記』にも、登場する「弥助」。前国士舘大学教授が最新の研究成果を発表します。

◆日時 3月13日（土）午前10時

◆場所 森岳公民館大ホール

◆講師 口之津歴史民俗資料館

館長 松本 昇 氏

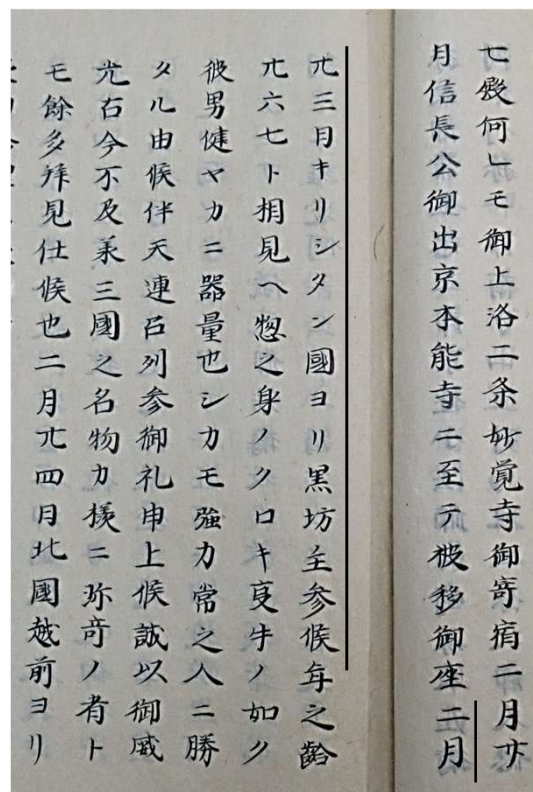
（前国士舘大学教授）

◆参加費 無料

◆定員 50人（先着順）

◆申込 島原市教育委員会社会教育課の

電話68-5473、FAX68-5480、窓口へ



【写真】『信長記』（肥前島原松平文庫所蔵）

天正9年（1581）2月23日の記事に「きりしたん国より黒坊主参り候」の記載がある。『信長記』には、松平忠房公の蔵書印である「尚舎源忠房」「文庫」が押されている。

